

2023年6月28日

やまぎん企業景況サーベイ (2023年4-6月)

～製造業、非製造業ともに業況判断 BSI は大幅改善～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

【調査要領】

対象期間 2023年4-6月
調査期間 2023年5月1日～23日
有効回答数 480社/600社（回答率 80.0%）

【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI (Business Survey Index)」を用いて表します。

①業況判断 BSI <前年同期比>

前年(2022年4-6月)に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合

②売上高 BSI <前年同期比>

前年(2022年4-6月)に比べ売上高が「増加する」企業の割合 - 「減少する」企業の割合

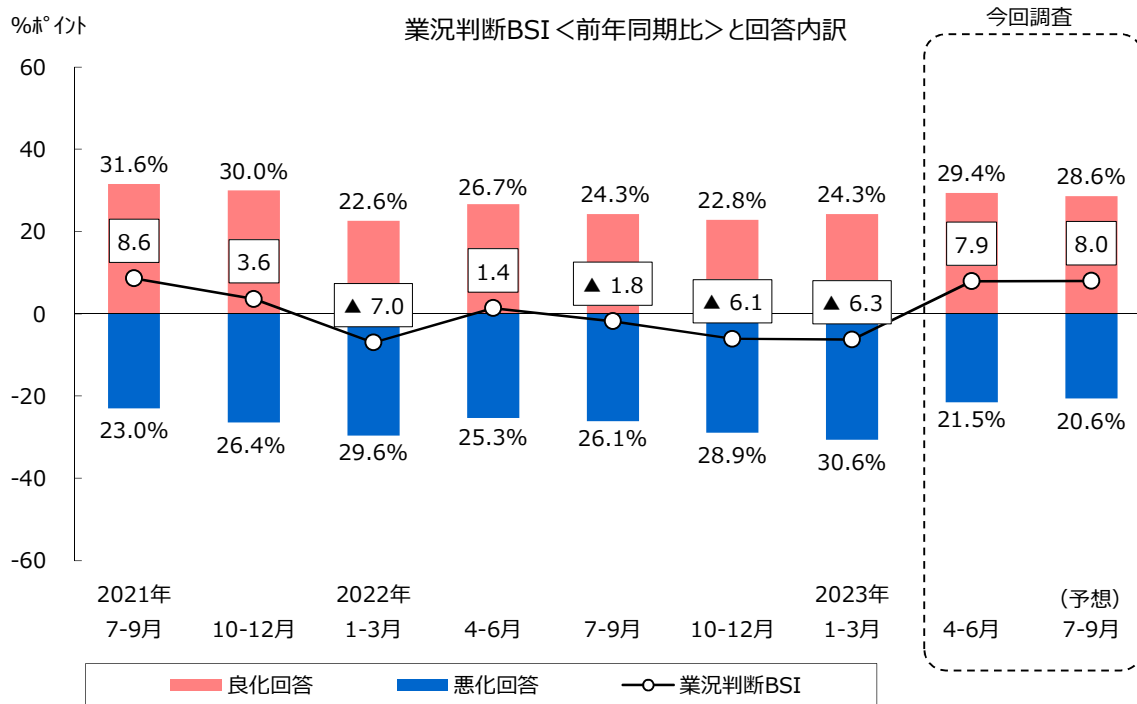
③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合 - 「少ない」とする企業の割合

やまぎん情報開発研究所
(山形銀行 営業支援部)

1. 業況判断BSI <前年同期比>

～全体では1年ぶりに上昇、非製造業が製造業を上回る～



(1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI <前年同期比> <前年同期 (2022年 4-6月) に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合> は、前回調査 (2023年 1-3月) に比べて +14.2 ポイントと大きく上昇し、7.9 となった。1年ぶりの上昇で「良化超」のプラス水準に復帰し、直近では 2021年 7-9月 以来の高水準となっている。

回答内訳をみると、前回比では良化回答の割合が上昇するとともに、悪化回答の割合が大きく低下しており、総じて改善傾向が強まっている。今年 5月より、新型コロナウイルス感染症が感染法上季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」となったことで、コロナ禍からの経済正常化の動きが一段と強まり、非製造業を中心に企業の景況感が改善したとみられる。

こうしたなか、2023年 7-9月の予想は、今回調査比 +0.1 ポイントの 8.0 で、高水準を維持したまま横ばいでの推移が見込まれている。

(2) 業種別の動向

以下では、業種別の BSI 水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業種	時期	業況判断BSI <前年同期比>				(予想)				
		2022年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2023年 1-3月	4-6月	前回比	7-9月	今回比
全産業		▲7.0	1.4	▲1.8	▲6.1	▲6.3	7.9	+14.2	8.0	+0.1

① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比+9.4ポイントの3.1となった。これは7期ぶりの上昇で、3期ぶりに「良化超」に復帰しており、内訳をみても9業種のうち6業種が上昇となっている。ただし、前回調査時点の予想(5.5)からは、企業数の多い一般機械の下振れにより若干下方修正された。

食料品・飲料 経済正常化の動きが強まるなかで、日本酒等をはじめ飲食店向けの需要回復がみられ、2期連続で上昇している。

繊維・衣服 コロナ禍の影響減退による受注増の動きから2期連続で上昇し、BSIは同業種としては調査開始以来最高水準となった。

木材・家具 3期連続で「悪化超」となっているものの、原材料価格の高騰に一服感がみられ

ることなどから4期ぶりに上昇に転じた。

窯業・土石 コンクリート関連で前年並とする企業が多く、BSIは再び低下した。

鉄鋼・金属 半導体製造装置関連の受注減が続き、2期連続で低下し「悪化超」となった。

電気機械 スマートフォン向け部品の受注回復の遅れなどをうけて、BSIは再び低下。5期連続の「悪化超」となっている。



























































































一般機械 半導体製造装置関連の生産調整が続いており、2期連続で「悪化超」となっているものの、前环比では7期ぶりに上昇した。

輸送機械 一部自動車メーカーの生産回復の動きなどをうけて、5期ぶりに上昇した。

その他製造業 印刷業等を中心に、経済正常化の動きに伴って観光やイベント関連需要が持ち直し、2期ぶりに大幅な上昇となった。

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	2022年				2023年		前环比		7-9月	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	前环比	7-9月	今环比	
製造業	 4.7	 4.2	 1.8	 ▲ 1.8	 ▲ 6.3	 3.1	 +9.4	 6.6	 +3.5	
食料品・飲料	 ▲ 17.3	 0.0	 0.0	 ▲ 15.4	 0.0	 17.1	 +17.1	 20.0	 +2.9	
繊維・衣服	 ▲ 20.0	 ▲ 15.4	 23.1	 16.7	 33.3	 50.0	 +16.7	 50.0	 ±0.0	
木材・家具	 0.0	 42.8	 7.7	 ▲ 20.0	 ▲ 28.6	 ▲ 14.3	 +14.3	 7.7	 +22.0	
窯業・土石	 ▲ 33.3	 10.0	 ▲ 10.0	 ▲ 20.0	 10.0	 0.0	 -10.0	 12.5	 +12.5	
鉄鋼・金属	 9.1	 ▲ 11.7	 41.2	 47.6	 18.2	 ▲ 9.1	 -27.3	 ▲ 4.6	 +4.5	
電気機械	 11.5	 ▲ 7.1	 ▲ 3.5	 ▲ 10.3	 ▲ 8.0	 ▲ 11.6	 -3.6	 ▲ 3.8	 +7.8	
一般機械	 24.3	 17.8	 4.1	 2.3	 ▲ 23.7	 ▲ 17.7	 +6.0	 ▲ 12.1	 +5.6	
輸送機械	 33.4	 12.5	 7.7	 7.2	 0.0	 28.6	 +28.6	 0.0	 -28.6	
その他製造業	 0.0	 ▲ 6.4	 ▲ 25.0	 ▲ 13.8	 ▲ 21.2	 9.4	 +30.6	 12.5	 +3.1	

2023年7-9月の予想については、今回調査比+3.5ポイントの6.6で、実現すれば2期連続で上昇し2021年10-12月以来の水準となる見通し。

② 非製造業

非製造業は前回は+17.6ポイントの11.3と2期連続で上昇し、8期ぶりに「良化超」に転じた。これは、5%から8%への消費増税前の駆け込み需要で大きく改善した2014年1-3月以来の高水準で、前回調査時点における予想(▲0.6)からも大幅に上方修正されている。なお、非製造業が製造業のBSIを上回ったのは、2021年1-3月以来、約2年ぶり。内訳をみると、前回は6業種のうち5業種が上昇し、唯一小幅な低下となった卸売業も、「良化超」を維持するなど底堅さがみられる。

建設業・不動産業 コロナ禍の影響減退や建材価格高騰の落ち着きをうけて、民間建築工事を中心に6期ぶりに「良化超」の水準に転じた。

運輸業 旅客輸送の持ち直しをうけてBSIは再び上昇。5期連続で「良化超」を維持。

卸売業 機械関連などで依然として仕入難の影響がみられ、小幅な低下となった。

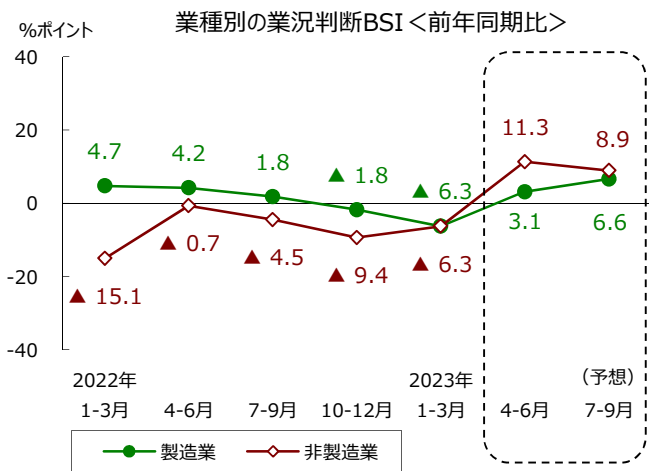
小売業 観光やイベント関連需要が持ち直し、

自動車ディーラーでは自動車生産の改善を好感する動きもみられたことなどから大幅に改善し、8期ぶりに「良化超」に転じた。

旅館・ホテル、飲食業 経済正常化の動きが強まるなか、BSIは全業種中最も高くなり、同業種としては調査開始以来最高水準となった。

サービス業・その他 個人向けサービスを中心に3期ぶりに上昇したものの、非製造業では唯一「悪化超」の水準にとどまった。

2023年7-9月の予想については、今回調査比-2.4ポイントの8.9で、「良化超」を維持するものの3期ぶりの低下が見込まれている。



業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	2022年				2023年			(予想)	
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	前回は	7-9月	今回は
非製造業	▲15.1	▲0.7	▲4.5	▲9.4	▲6.3	11.3	+17.6	8.9	-2.4
建設業・不動産業	▲6.7	▲12.2	▲11.5	▲27.5	▲22.5	8.8	+31.3	3.4	-5.4
運輸業	▲21.4	15.8	11.1	23.6	13.3	28.6	+15.3	35.8	+7.2
卸売業	▲18.7	5.8	▲12.3	▲14.1	7.2	7.0	-0.2	9.9	+2.9
小売業	▲35.0	▲19.6	▲20.4	▲9.3	▲9.8	18.6	+28.4	4.6	-14.0
旅館・ホテル、飲食業	0.0	50.0	40.0	46.7	40.0	58.8	+18.8	58.8	±0.0
サービス業・その他	▲7.9	6.8	10.8	2.1	▲12.5	▲6.6	+5.9	▲4.3	+2.3

(3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、置賜地区が17.2、庄内地区が10.1、北部地区が7.4、山形地区が3.4、西部地区が▲2.0の順になり、前回は西部地区のみが低下し、他の4地区はすべて上昇した。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上市市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

① 山形地区

前回は+10.2ポイントの3.4で、2期連続で上昇し、6期ぶりに「良化超」に転じた。製造業は輸送機械や印刷、非製造業は自動車ディーラーなどを中心にいずれも上昇した。

② 置賜地区

前回は+20.5ポイントと大幅に上昇し、17.2と全地区中最も高水準になった。「良化超」となるのは7期ぶりで、これまで低迷していた非製造業における改善が目立った。

③ 西部地区

前回の大幅上昇から一転し、前回は-7.0ポイントの▲2.0と、全地区中唯一低下し再び「悪化超」に転じた。他地区では上昇した繊維・衣服が低下したことなどから、製造業の低下幅が大きくなっている。

④ 北部地区









































前回は+25.0ポイントと大幅に上昇し、7.4と4期ぶりに「良化超」に復帰。上昇するのは7期ぶりで、製造業、非製造業ともに二桁台の上昇幅となった。

⑤ 庄内地区

前回は+12.6ポイントの10.1となり、2期連続の上昇で「良化超」に復帰した。製造業では企業数の多い一般機械のみ悪化したが、食料品・飲料などが上昇し全体を押し上げた。

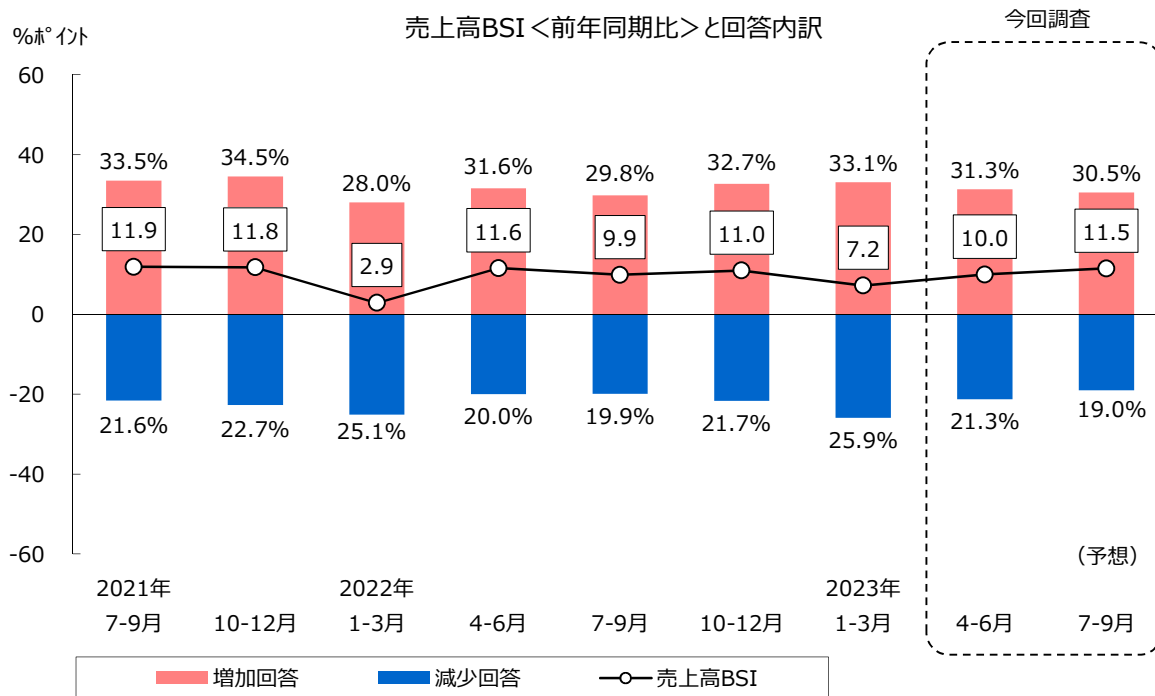
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2022年				2023年				
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	前回は	7-9月	今回は
山形地区										
	▲ 15.1	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 8.9	▲ 6.8	3.4	+10.2	4.9	+1.5	
	製造業	▲ 14.3	3.7	▲ 10.3	▲ 12.3	▲ 15.4	▲ 2.3	+13.1	▲ 2.3	±0.0
非製造業	▲ 15.5	▲ 2.6	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 2.8	6.0	+8.8	8.0	+2.0	
置賜地区										
	▲ 16.1	0.0	▲ 5.8	▲ 3.9	▲ 3.3	17.2	+20.5	14.7	-2.5	
	製造業	2.5	1.9	▲ 1.8	3.7	13.4	11.1	-2.3	15.1	+4.0
非製造業	▲ 35.0	▲ 2.1	▲ 10.8	▲ 12.7	▲ 19.1	23.2	+42.3	14.2	-9.0	
西部地区										
	▲ 8.6	▲ 11.1	0.0	▲ 14.5	5.0	▲ 2.0	-7.0	2.0	+4.0	
	製造業	20.0	▲ 14.8	3.9	▲ 9.6	12.1	0.0	-12.1	0.0	±0.0
非製造業	▲ 40.9	▲ 7.4	▲ 3.7	▲ 20.9	▲ 3.7	▲ 4.4	-0.7	4.2	+8.6	
北部地区										
	15.6	13.7	0.0	▲ 1.9	▲ 17.6	7.4	+25.0	2.1	-5.3	
	製造業	17.5	12.0	0.0	0.0	▲ 34.0	▲ 15.5	+18.5	▲ 11.4	+4.1
非製造業	13.9	15.5	0.0	▲ 3.7	▲ 2.0	28.0	+30.0	14.0	-14.0	
庄内地区										
	▲ 6.1	1.3	9.6	▲ 3.5	▲ 2.5	10.1	+12.6	15.4	+5.3	
	製造業	4.2	13.3	30.0	10.4	7.7	29.6	+21.9	40.8	+11.2
非製造業	▲ 11.9	▲ 6.1	▲ 1.9	▲ 10.7	▲ 7.6	0.0	+7.6	2.0	+2.0	

2. 売上高BSI <前年同期比>

～業況判断BSIと同様に、非製造業が製造業を上回る～



(1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI<前年同期比>は、前回調査に比べ+2.8ポイントの10.0となり、2期ぶりに上昇した。内訳をみると、増加回答割合は前回に比べ低下したものの、それを上回って減少回答割合が低下している。なお、業況判断 BSI と売上高 BSI のギャップ(業況判断 BSI－売上高 BSI)は▲2.1 で、前回(▲13.5)からは大幅に縮小した。さらに業種別にみると、製造業は▲5.5、非製造業は 0.3 となっており、製造業ではコスト上昇による収益圧迫をうけて、売上増であっても業況改善につながらない企業が依然として一定割合みられるのに対し、非製造業ではギャップはほとんどない状態となっている。

こうしたなか、2023年7-9月の予想については、今回調査比+1.5ポイントの11.5で、2期連続で上昇する見込みとなっている。

(2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比-3.0ポイントの8.6、非製造業は同+6.9ポイントの11.0となり、業況判断 BSI と同様

に、約2年ぶりに非製造業が製造業を上回った。

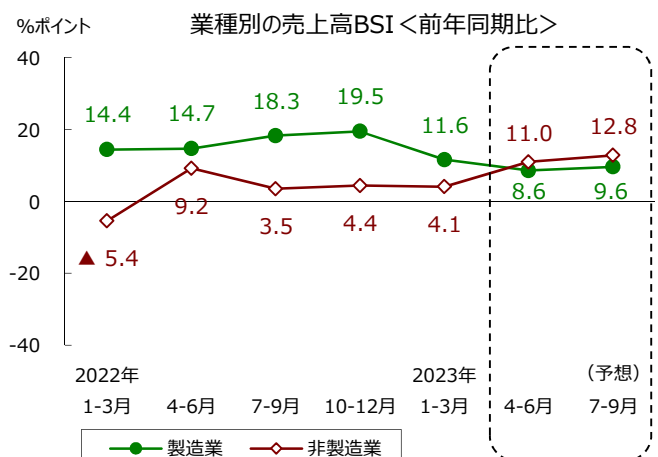
① 製造業

前回比では9業種中5業種が低下、3業種が上昇(横ばい1業種)で、外需の弱含み等から機械関連業種における低下が続いている。

② 非製造業

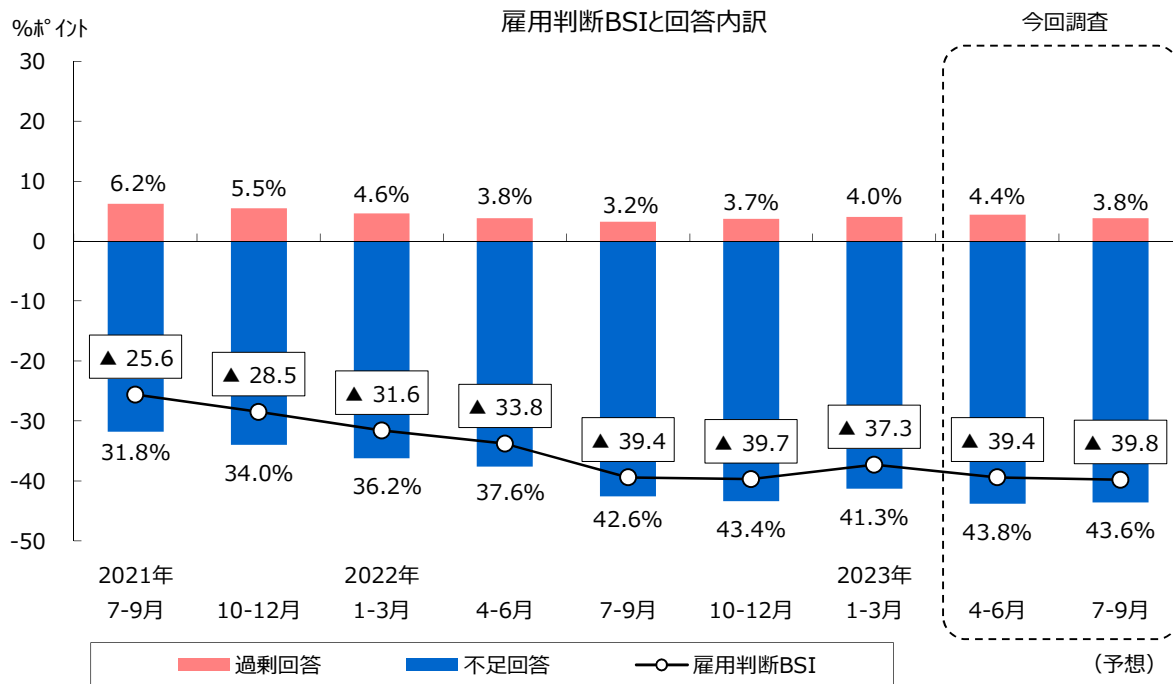
前回比では6業種中4業種が上昇し、卸売業、小売業の販売関連2業種が低下した。

2023年7-9月の予想は、製造業が今回調査比+1.0ポイントの9.6、非製造業は同+1.8ポイントの12.8といずれも上昇する見込み。



3. 雇用判断BSI

～非製造業を中心に再び人手不足感が強まる～



(1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が4.4%、「適正」が51.8%、「少ない」が43.8%で、雇用判断BSIは前回は-2.1ポイントの▲39.4となった。調査開始以来最低となった前々回(2022年10-12月、▲39.7)に近い水準となっており、依然として人手不足感が非常に強い状況が続いている。

こうしたなか、2023年7-9月の予想については、今回調査比-0.4ポイントの▲39.8で、小幅ながらさらに低下する見込み。

(2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回は+2.4ポイントの▲27.2で2期連続の上昇。一方、非製造業は同-5.1ポイントの▲47.8で、3期ぶりに低下し調査開始以来の最低水準を更新した。

① 製造業

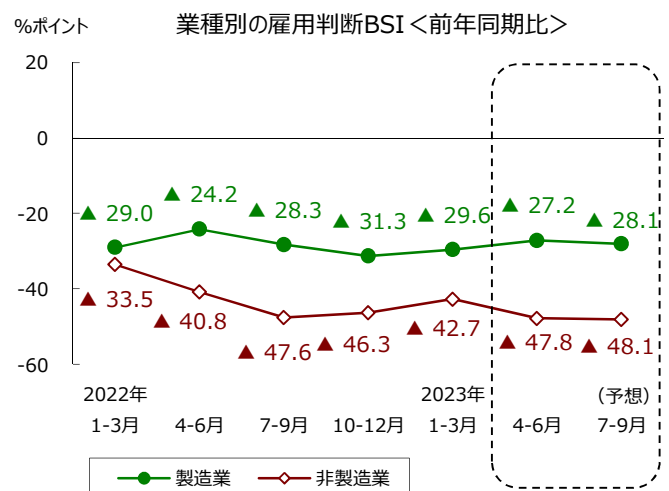
前回は9業種中7業種が上昇。依然として「不足超」の業種がほとんどであるものの、新卒採用の時期にあたり若干ながら人手不足感が

緩和した企業もみられた。

② 非製造業

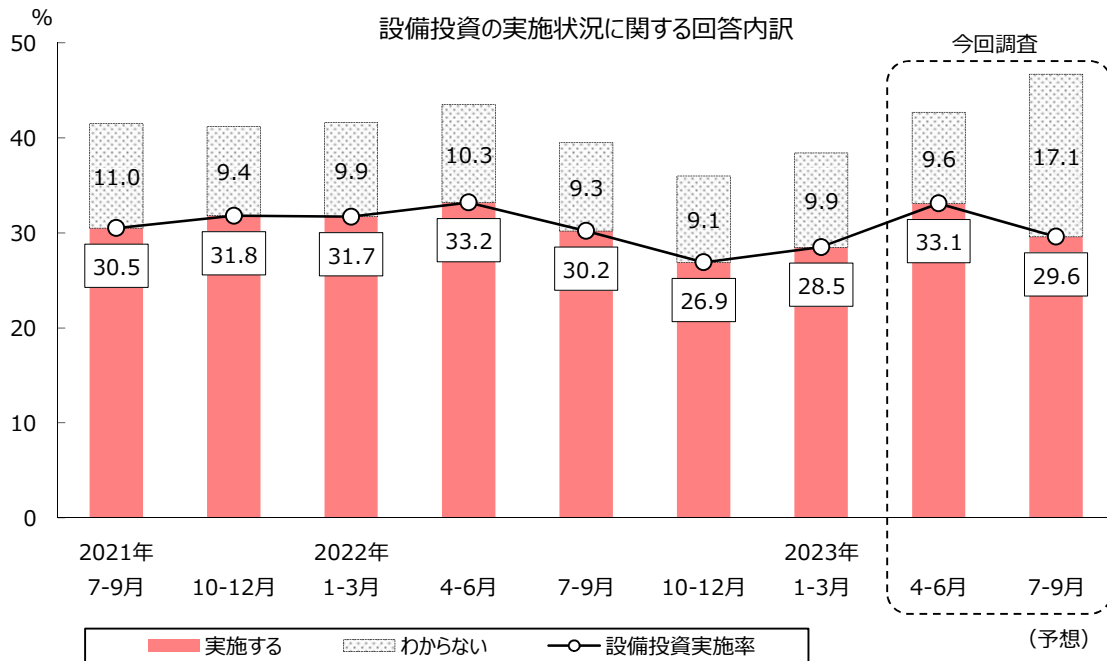
前回は6業種すべてが低下し、依然として全業種が「不足超」となっている。特に運輸業と旅館・ホテル、飲食業は、BSIが▲70を下回る水準まで低下している。

2023年7-9月の予想については、製造業が今回調査比-0.9ポイントの▲28.1、非製造業が同-0.3ポイントの▲48.1で、いずれも小幅な低下が見込まれている。



4. 設備投資実施率

～製造業、非製造業ともに上昇し、コロナ禍後最高水準にほぼ並ぶ～



(1) 全産業ベースの動向

2023年4-6月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比+4.6ポイントの33.1%で、2期連続で上昇している。設備投資実施率は、年度初めにあたる4-6月が年間ピークとなることが多いが、コロナ禍後で最高となった前年同期(2022年4-6月、33.2%)と比較してもほぼ同水準まで上昇している。2022年度後半の設備投資実施率が低水準に抑えられていたこともあり、新年度に入り設備投資の実施が活発化したと推測される。

2023年7-9月の予想については、設備投資実施率は今回調査比-3.5ポイントの29.6%となる見込み。調査時点ですでに高い水準にあることから、計画進捗に伴って前年同期を上回る水準に上方修正されていくものとみられる。

(2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比+3.1ポイントの37.6%で2期連続の上昇。コロナ禍後で最高となった2022年1-3月に迫る水準とな

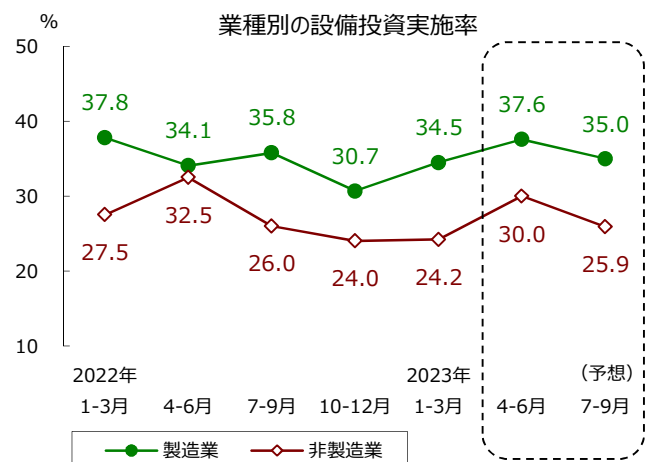
った。非製造業も同+5.8ポイントと大きく上昇し30.0%となっている。

① 製造業

窯業・土石、輸送機械、その他製造業が50.0%で最も高くなっており、次いで食品・飲料が40.0%となった。

② 非製造業

運輸業が78.6%で最も高くなっており、次いで旅館・ホテル、飲食業が47.1%、サービス業・その他が37.0%となった。

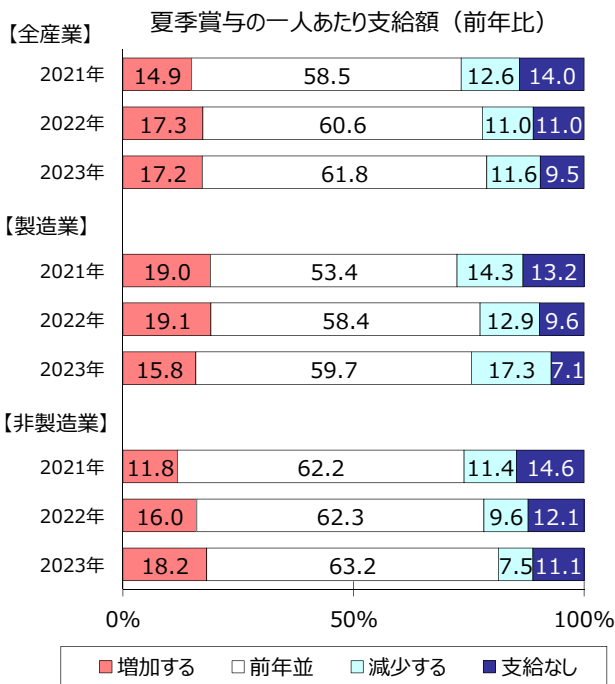


5. 夏季賞与について

～製造業はやや悪化、非製造業は改善傾向～

(1) 一人あたりの支給額

今夏の賞与(ボーナス)の支給状況についてきいたところ、一人あたりの支給額については、前年に比べ「増加する」が17.2%、「前年並」が61.8%、「減少する」が11.6%、「支給なし」が9.5%となった。「増加する」との回答割合は、前年調査(2022年4-6月)に比べ-0.1ポイントとほぼ横ばいになっている。一方、「減少する」と「支給なし」を合わせた回答割合は21.1%で、前年調査に比べ-0.9ポイントと低下した。ボーナスの増減傾向は、全体では前年から大きな変化はなく、支給の裾野が広がったという意味では若干の改善になったと考えられる。



① 製造業

製造業では「増加する」が15.8%、「前年並」が59.7%、「減少する」が17.3%、「支給なし」が7.1%となった。「増加する」の割合は、前年調査に比べ-3.3ポイントと低下し、前年までの増加傾向には一服感がみられるものの、コロナ禍前の2019年調査(15.1%)を上回る水準を維持した。また、「減少する」の割合は前年調

業種別の夏季賞与の一人あたり支給額 (前年比)

(単位: %, %ポイント)	増加する	前年並	減少する	支給なし
製造業	15.8 (-3.3)	59.7	17.3	7.1
食料品・飲料	26.5 (+10.3)	61.8	5.9	5.9
繊維・衣服	8.3 (±0.0)	66.7	8.3	16.7
木材・家具	35.7 (±0.0)	50.0	14.3	0.0
窯業・土石	12.5 (+12.5)	62.5	12.5	12.5
鉄鋼・金属	22.7 (+5.1)	40.9	22.7	13.6
電気機械	15.4 (-13.1)	57.7	26.9	0.0
一般機械	2.9 (-21.5)	67.6	29.4	0.0
輸送機械	7.1 (-6.2)	64.3	14.3	14.3
その他 製造業	12.5 (-0.4)	62.5	12.5	12.5
非製造業	18.2 (+2.2)	63.2	7.5	11.1
建設業・不動産業	15.6 (-5.7)	64.4	12.2	7.8
運輸業	28.6 (+7.5)	57.1	7.1	7.1
卸売業	16.9 (+6.6)	63.4	4.2	15.5
小売業	18.6 (-5.6)	65.1	4.7	11.6
旅館・ホテル, 飲食業	35.3 (+29.0)	29.4	5.9	29.4
サービス業・その他	15.6 (-3.0)	73.3	6.7	4.4

※ () 内は前年との差。

査に比べ+4.4ポイントと上昇したが、「支給なし」の割合は-2.5ポイントと低下した。前年よりも減少した企業は増えたものの、賞与支給の裾野は引き続き拡大している。

さらに詳しく業種別にみると、食料品・飲料、窯業・土石、鉄鋼・金属では、前年調査に比べ「増加する」の割合が上昇したものの、前年後半より業況が悪化傾向となった電気機械、一般機械、輸送機械などでの低下が目立った。

② 非製造業

非製造業では「増加する」が18.2%、「前年並」が63.2%、「減少する」が7.5%、「支給なし」が11.1%となった。「増加する」の割合が前年調査に比べ+2.2ポイントと上昇する半面、「減少する」+「支給なし」の割合については-3.1ポイントと低下するなど、製造業よりも改善傾向が明確になっている。

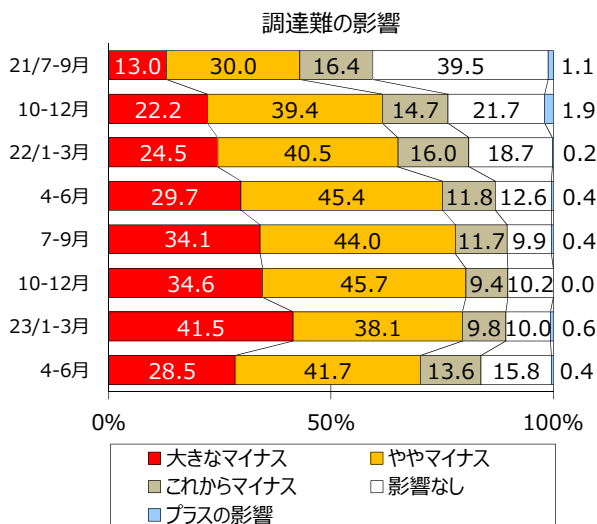
さらに詳しく業種別にみると、運輸業、卸売業、旅館・ホテル, 飲食業で前年調査に比べて「増加する」の割合が上昇しており、なかでも旅館・ホテル, 飲食業の上昇幅が特に大きくなっている。

6. 調達難の影響

～調達難の影響は減退、価格転嫁が進展～

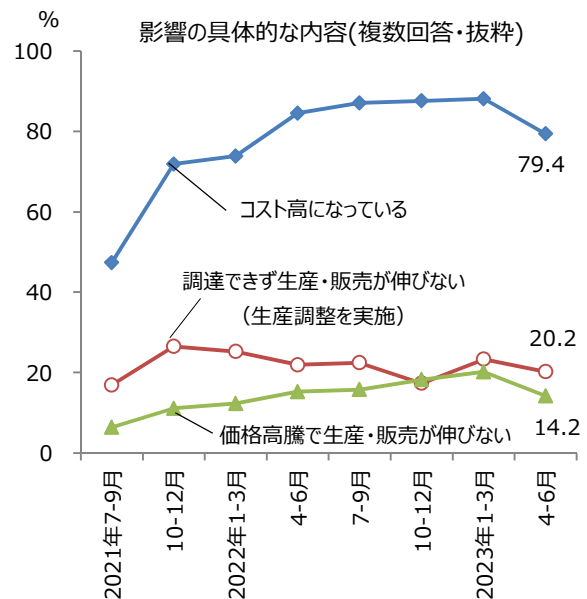
(1) 調達難による影響度合い

2023年4～6月において、様々な調達難が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、全体では「大きなマイナスの影響がある」が28.5%、「ややマイナスの影響がある」が41.7%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が13.6%、「あまり影響はない」が15.8%、「マイナスもあるが、全体としてはプラスの影響が大きい」が0.4%となった。マイナスの影響があるとする割合（「大きなマイナス」＋「ややマイナス」）は70.2%で、2022年1～3月以来、約1年ぶりの低水準となっている。



※2023年1～3月は再集計を行っている。

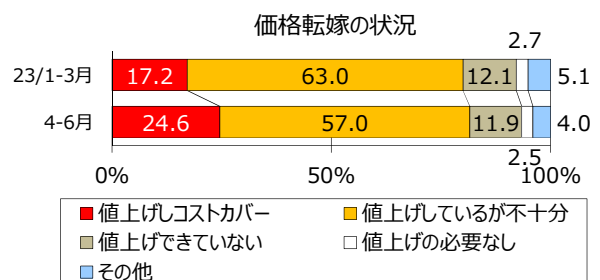
影響の具体的な内容（複数回答）をみると、「価格が高騰しコスト高になっている」が79.4%、「必要なものが調達できず、生産・販売が伸びない（生産調整を実施している）」が20.2%、「価格が高騰し生産・販売が伸びない」が14.2%の順に回答割合が高くなっている。なかでも、「価格が高騰し生産・販売が伸びない」とする回答割合は、調査を開始した2021年7～9月以降、緩やかな上昇傾向をたどってきたが、今回調査で初めて低下に転じる動きとなった。一部では原材料価格の高騰に不服感がみられることや、経済正常化の動きをうけて価格上昇に



よる買い控え等への懸念が後退していることなどが反映されていると考えられる。

(2) 価格転嫁の状況

2023年4～6月において、コスト上昇分の取扱い製品・サービスへの価格転嫁の状況についてきたところ、「値上げをしており、コスト上昇分をおおむねカバーできている」が24.6%、「値上げをしているが、コスト上昇分をカバーするには不十分である」が57.0%、「値上げをしたいが、全くできていない」が11.9%、「値上げをしたいが、全くできていない」が11.9%、「コスト上昇は軽微であり、値上げを行う必要はない」が2.5%の順になった。値上げを実施した割合は81.6%で、前回調査(80.2%)からは微増にとどまったものの、そのうちコスト上昇分をおおむねカバーできているとの回答割合は目立って上昇している。以上



参考：業種別総括表

2023年4-6月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資 実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	480	7.9	+14.2	10.0	+2.8	▲ 39.4	-2.1	33.1	+4.6
		8.0	+0.1	11.5	+1.5	▲ 39.8	-0.4	29.6	-3.5
製造業	197	3.1	+9.4	8.6	-3.0	▲ 27.2	+2.4	37.6	+3.1
		6.6	+3.5	9.6	+1.0	▲ 28.1	-0.9	35.0	-2.6
食料品・飲料	35	17.1	+17.1	28.6	-2.9	▲ 40.0	-16.4	40.0	+3.2
		20.0	+2.9	31.4	+2.8	▲ 35.3	+4.7	40.0	±0.0
繊維・衣服	12	50.0	+16.7	75.0	+33.4	▲ 66.7	-33.3	33.3	-16.7
		50.0	±0.0	83.3	+8.3	▲ 50.0	+16.7	41.7	+8.4
木材・家具	14	▲ 14.3	+14.3	▲ 7.1	±0.0	▲ 35.7	+14.3	28.6	±0.0
		7.7	+22.0	▲ 7.2	-0.1	▲ 35.7	±0.0	14.3	-14.3
窯業・土石	8	0.0	-10.0	12.5	-7.5	▲ 12.5	+7.5	50.0	+10.0
		12.5	+12.5	0.0	-12.5	▲ 25.0	-12.5	25.0	-25.0
鉄鋼・金属	22	▲ 9.1	-27.3	▲ 18.2	-50.0	▲ 31.9	+9.0	36.4	+4.6
		▲ 4.6	+4.5	▲ 13.6	+4.6	▲ 27.3	+4.6	50.0	+13.6
電気機械	26	▲ 11.6	-3.6	▲ 7.7	-3.7	▲ 19.3	+0.7	34.6	-13.4
		▲ 3.8	+7.8	0.0	+7.7	▲ 15.4	+3.9	42.3	+7.7
一般機械	34	▲ 17.7	+6.0	▲ 11.8	+9.2	▲ 24.2	+10.0	23.5	-2.8
		▲ 12.1	+5.6	▲ 14.7	-2.9	▲ 32.4	-8.2	23.5	±0.0
輸送機械	14	28.6	+28.6	7.2	-21.3	▲ 35.8	+7.1	50.0	+7.1
		0.0	-28.6	▲ 7.1	-14.3	▲ 35.8	±0.0	42.9	-7.1
その他製造業	32	9.4	+30.6	21.9	+9.7	0.0	+18.2	50.0	+25.8
		12.5	+3.1	25.0	+3.1	▲ 12.5	-12.5	31.3	-18.7
非製造業	283	11.3	+17.6	11.0	+6.9	▲ 47.8	-5.1	30.0	+5.8
		8.9	-2.4	12.8	+1.8	▲ 48.1	-0.3	25.9	-4.1
建設業・不動産業	91	8.8	+31.3	1.1	+15.7	▲ 52.7	-3.2	28.6	+5.0
		3.4	-5.4	4.4	+3.3	▲ 52.2	+0.5	23.3	-5.3
運輸業	14	28.6	+15.3	42.8	+42.8	▲ 71.4	-11.4	78.6	+18.6
		35.8	+7.2	42.8	±0.0	▲ 57.1	+14.3	71.4	-7.2
卸売業	71	7.0	-0.2	7.2	-8.3	▲ 34.3	-2.9	14.1	-2.8
		9.9	+2.9	12.7	+5.5	▲ 34.3	±0.0	15.5	+1.4
小売業	44	18.6	+28.4	9.1	-0.7	▲ 38.6	-3.3	29.5	+6.0
		4.6	-14.0	4.5	-4.6	▲ 38.6	±0.0	31.8	+2.3
旅館・ホテル, 飲食業	17	58.8	+18.8	76.5	+23.1	▲ 76.5	-29.8	47.1	+20.4
		58.8	±0.0	70.6	-5.9	▲ 76.5	±0.0	29.4	-17.7
サービス業 ・その他	46	▲ 6.6	+5.9	4.3	+2.2	▲ 50.0	-2.1	37.0	+12.0
		▲ 4.3	+2.3	6.5	+2.2	▲ 56.5	-6.5	26.1	-10.9

上段…2023年4-6月、下段…2023年7-9月予想